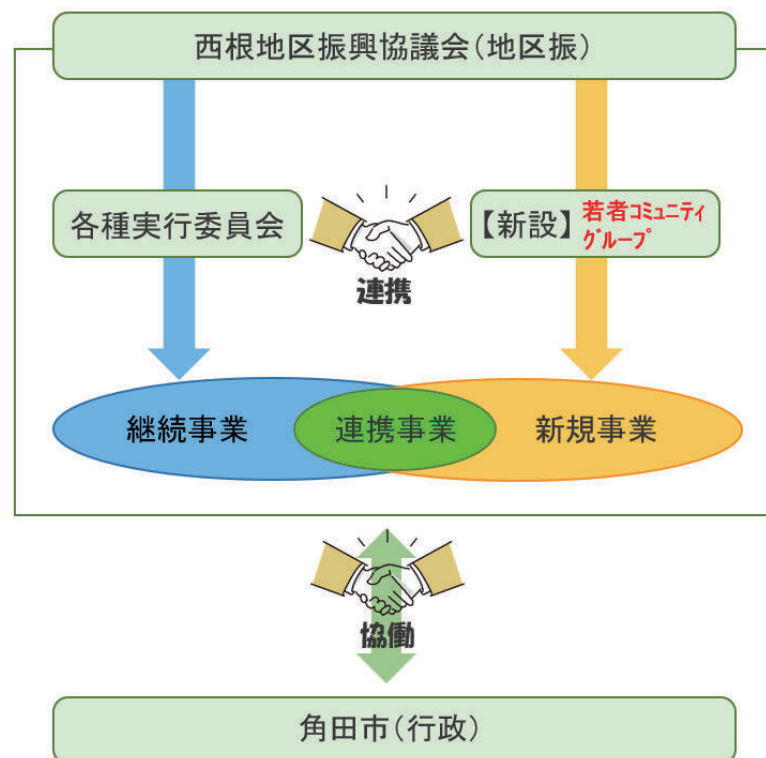


地域づくり計画作成の④つのステップ



地域づくり計画の推進体制

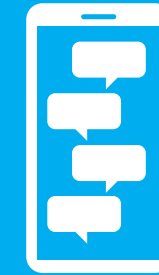
これまでに取り組んできた球技大会や敬老会、高蔵寺ホタルまつりなどの「継続事業」については、これまでどおり各種実行委員会と地区振興協議会が協力しながら引き続き取り組んでいきます。

また、この地域づくり計画を一層推進するためにも、地区振興協議会の中に新たに「若者コミュニティグループ」を設置し若者の意見を積極的に取り入れながら「新規事業」に取り組んでいきます。

地区民が気軽に集える
交流の機会



若者の意見を取り入れた
親しみのある活動



ゴミのポイ捨て・不法投棄のない
きれいな地区



西根地域づくり計画書 概要版

「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」
10～30歳代 132人(51%)

『若者』が『住み続けたい』と思う

⑥つのアイデアを書きました。

みなさんのご意見をいつでもお待ちしております

西根地区振興協議会では、今後、西根地区で取り組んでほしい活動ややってみたいイベント、地域のトピックス、地域で困っていることなど、地域づくりに関してだけでなく、幅広くみなさんからのご意見を募集しております。

小中高生も含めた若者や西根地区以外の方でも結構ですので、西根地区に関することであればどんなことでもお気軽にご意見をお寄せください。



(西根地域づくり計画書)

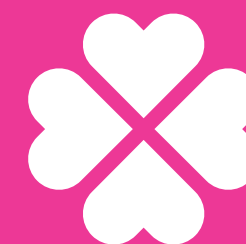
西根地区振興協議会

事務局：西根自治センター
開館時間：8：30～16：45
〒981-1516 角田市高倉字本町15-1
TEL：0224-65-2111
FAX：0224-67-3001
E-mail：nishine-cc@city.kakuda.lg.jp

共同作業への参加促進



高齢者も安心して
暮らせる地区



農地の管理・保全



よいっしょ西根

～若者が集いチャレンジできる地域～

地域づくり計画とは

地域づくり計画とは、地域の特性や自然、歴史、文化、人材などの地域資源や地域課題を整理し、課題の解決方法や将来像を実現する方法などを地域のみなさんで話し合いながらまとめた地域づくりの指針となるものです。

西根地区では、平成22年6月に策定しておりますが、地域を取り巻く環境は大きく変わってきており、住民ニーズや地域課題も多様化・複雑化しています。このようなことから、次の10年に向けて地区計画の見直しを行いました。

将来にわたって、今以上に安心して暮らせる地区にしていこうという目標を共有し取り組んできました。

地区民が気軽に集える 交流の機会をつくります！

旧西根小学校などを活用した
謎解き宝探し大会等のイベントを開催

地区内外の方が誰でも参加できるように
スクールバス等により送迎を実施します。

世代ごとや目的ごとの

コミュニティグループをつくる

SNSやホームページ等を活用して各カテゴリーの
コミュニティグループをつくり、世代内交流から
世代を超えた交流へ広げる。

マンパワーと地域課題のマッチングを図る

若者の意見を取り入れた 親しみのある活動を行います！

SNS等を活用して西根地区以外の
若者も含めイベントの企画・参加を募集
イベント参加者も含めアンケート等により
若者から意見を聞き次のイベントにつなげていく
若者の意見を積極的に取り入れた親しみのある
組織づくりに取り組む

小中高生も含めた若者が意見を出せる場をつくる

小・中学校や高校等と連携して
若者の意見を聞く機会をつくる
若者会議の様な機会をつくり
若者がやりたいこと・チャレンジを地域で支援

ゴミのポイ捨て・不法投棄のない きれいな地区にします！

ゴミのポイ捨てや不法投棄が
多い場所の把握、パトロールを実施
注意喚起看板やダミーカメラの設置、
ゴミ減量化の啓発、ゴミ分別・ゴミ出しマナー等の
講習会を開催

現計画書の一部も継続事業として 取り組んでいきます！

現地区計画書では、分野別に33事業が記載しており、
今後も地域づくりに必要な事業として
「地域のおもてなし隊推進事業」や「ホタルの里づくり事業」等
16事業を引き続き継続していきます。

せんだん公園（西根運動公園）活用事業

・憩いの場、健康推進の場に

地域のおもてなし隊推進事業

・高蔵寺を拠点とした観光キャンペーンに協力

文化活動推進事業

・伝承文化の伝承、名人リストの作成

介護の仲間づくり事業

・介護研修会の開催 など

生き生き 生きがよい事業

一人暮らしサポート事業

食楽支援事業

ゴミ減量化推進事業

地域の高齢者支援事業

水辺の環境改善事業

西根の名産品掘り起こし事業

西根の名産品開発とPR事業

農業活性化推進事業・山林の活用推進事業

ホタルの里づくり事業

消費者と生産者の交流事業

情報の収集と発信事業

継

『若者』が『住み続けたい』と思う 6つのアイデア

共同作業への参加促進を図ります！

人口減少・高齢化が深刻化していることから、
共同作業の実施に支障をきたしており、
負担の少ない共同作業のあり方を検討する。

- 共同作業での機械の活用・機械化を検討
- 共同作業の作業範囲の見直しを検討

高齢者も安心して暮らせる 地区を目指します！

少子高齢化が進み独居高齢者が増えていることから、
地区内の助け合いにより高齢者が生きがいを持って
安心して楽しく暮らせるように支援する。

- 世代を問わず交流できる場や機会をつくる
- 高齢者の移動手段の確保を検討

農地の管理・保全を図ります！

若者の農業離れや農家の高齢化、人手不足などで
耕作放棄地が増加していることから、農林業の
新たな事業モデルを検討する。

- 農業体験プログラム等を検討
- ふるさと納税等を活用した新たな農地の使用方法を検討